

《子どもの歯の健康に関する全国実態調査》

～ 子どもの乳歯、普通はいつ抜ける？ ～
抜ける時期に関心を持つ親はわずか 8%
4 割が一般的な抜け始めの時期を知らず

乳歯の早期脱落の要因の一つで、成長が進むにつれて骨に痛みが出たり、
運動機能障害で日常生活に影響を及ぼすことがある
全身疾患「低ホスファターゼ症」の認知率は 5.3%

- 子どもの歯の健康に関心がある母親は 6 割(61.7%)を超えているが、歯の健康に関して情報収集している母親はそのうち 4 割(41.2%)、全体では 25.4%にとどまる。
- 子どもの歯の健康に関して、母親が最も気にしているのは「虫歯」(55.8%)、最も関心が低かったのは「乳歯の抜ける時期・順番」で 8.0%と 1 割に満たず。
- 子どもの歯の生え始めの時期を知っていると回答した母親は 8 割(83.6%)を占めるものの、抜け始めの時期を知っている母親は 6 割(62.5%)にとどまり、歯の生え始めと比較して関心が低い。
- 子どもの抜けた乳歯の形について、通常の形(短く小さい)を知っている母親は 6 割に至らない(56.0%)。3 割(28.1%)の親が「分からない」。
- 乳歯が思っていたより早く抜けた場合でも、4 割(43.5%)の母親は、歯科へ行く必要性を感じていない。
- 定期歯科健診(1歳6か月児、3歳児)を受けている、または受ける意向がある母親は 9 割以上(各 95.5%、94.6%)と高い割合を示した。一方、受けていない人の理由の最多は「歯科健診の実施を知らなかったから」(各 41.0%、33.3%)。
- 乳歯の早期脱落の要因の一つで、成長が進むにつれて骨に痛みが出たり、運動機能障害で日常生活に影響を及ぼすことがある全身疾患「低ホスファターゼ症」の認知率は 5.3%。

アレクシオンファーマ合同会社(本社:東京都渋谷区)は、全国の1~5歳までの子どもを持つ母親4,700名(各都道府県100名)を対象に、子どもの歯の健康に関する全国調査を実施しました(調査期間:2017年11月18日-11月21日)。子どもの歯の健康というと、虫歯などを気にする母親が多いのが現状ですが、乳歯が通常よりも早く抜け落ちる「早期脱落」には、健康なからだの成長や発育を脅かす全身疾患が潜んでいることもあるために注意が必要です。今回の調査では、子どもの歯の健康に対する母親の意識や関心、歯科健診の受診状況などに着目し、その実態を明らかにしました。

主な調査結果は、以下の通りです。

【主な調査結果】

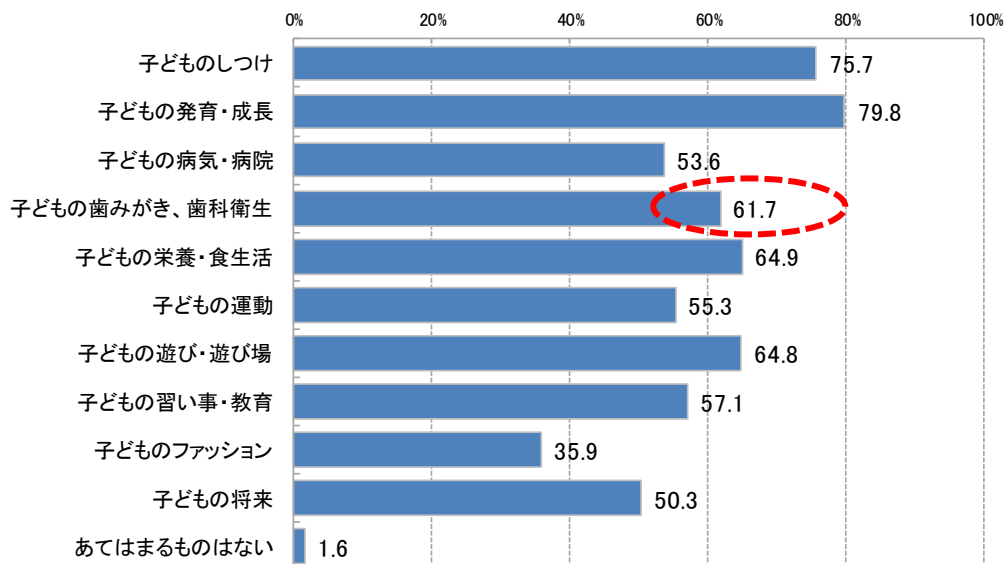
■子どもの歯の健康に関心がある母親は 6 割(61.7%)を超えているが、歯の健康に関して情報収集している母親はそのうち 4 割(41.2%)、全体では 25.4%にとどまる。【Q2】

全回答者(4,700人)に対し、子どもに関して興味・関心があるもの、情報収集しているものを尋ねたところ、「子どもの発育・成長」が最も多く79.8%(3,751人)で、「子どものしつけ」が75.7%(3,559人)、「子どもの栄養・食生活」が64.9%(3,052人)と続きました。

「子どもの歯みがき、歯科衛生」について興味・関心があると回答した人は61.7%(2,902人)でした。

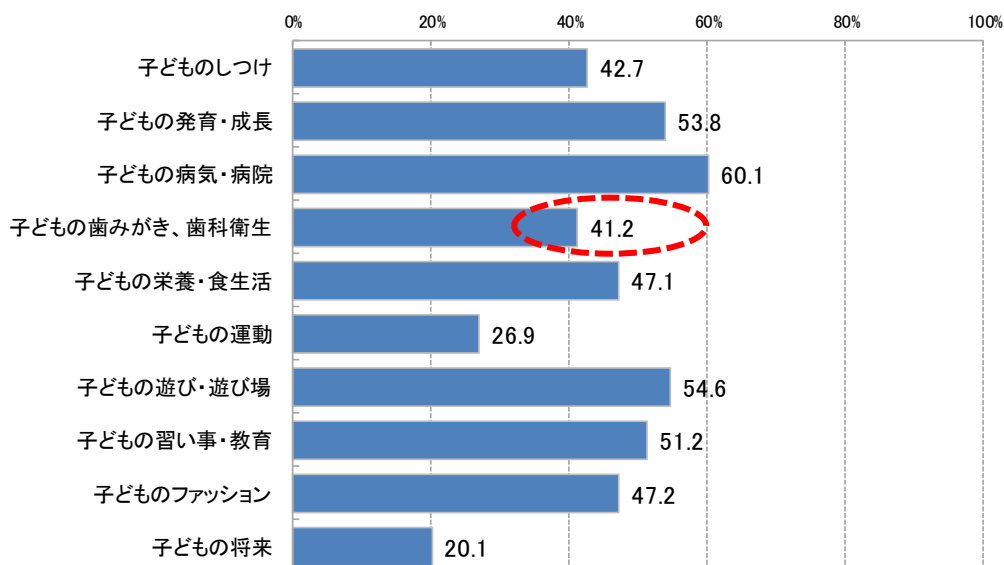
「子どもの歯みがき、歯科衛生」について興味関心があると回答した母親のうち、情報収集まで行っている割合は41.2%(1,196人)にとどまっており、全体でみると25.4%(1,196人)でした。

[興味・関心がある]

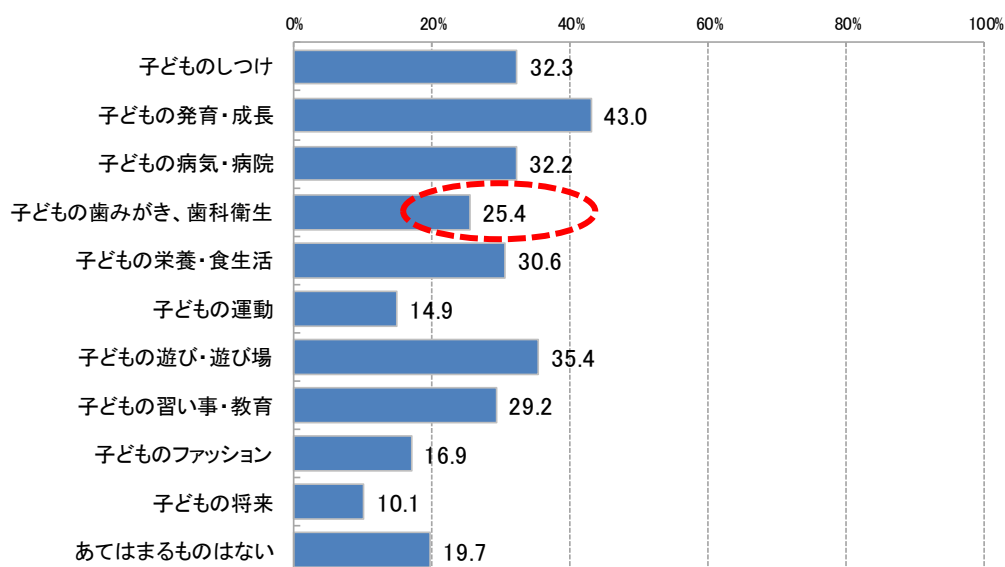


[情報収集をしている]

※興味・関心がある人を100%とした割合



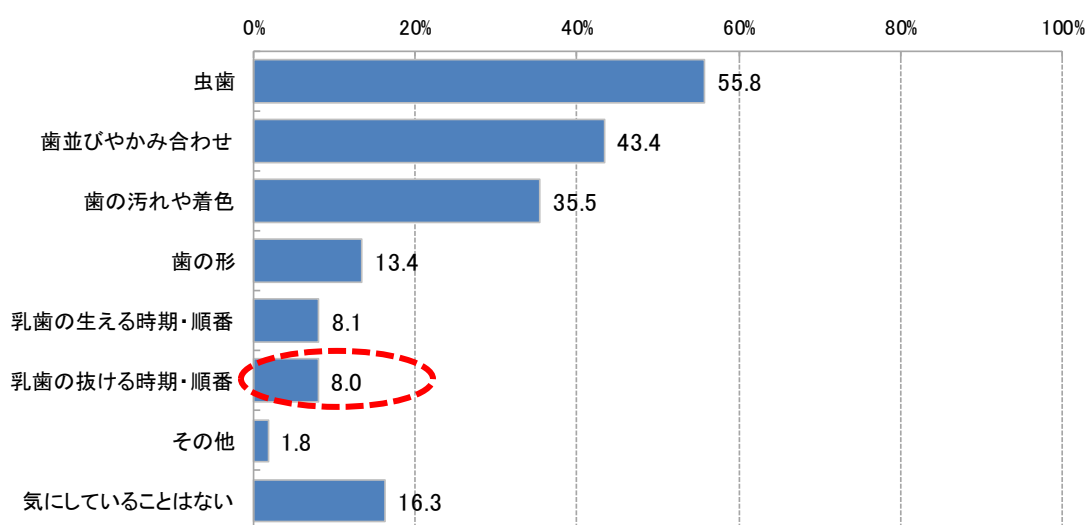
[興味・関心があり、かつ情報収集をしている]



■子どもの歯の健康に関して、母親が最も気にしているのは「虫歯」(55.8%)、最も関心が低かったのは「乳歯の抜ける時期・順番」で8.0%と1割に満たず。【Q5】

全回答者(4,700人)に対し、子どもの歯の健康で気にしていることを尋ねたところ、「虫歯」が55.8%(2,624人)で最も多く、以下は「歯並びやかみ合わせ」(43.4%、2,039人)、「歯の汚れや着色」(35.5%、1,668人)が続きました。また、「気にしていることはない」と回答した人も16.3%(766人)に上りました。

一方、最も低かったのは「その他」をのぞき、「乳歯の抜ける時期・順番」で、1割に満たない8.0%(375人)にとどまっています。



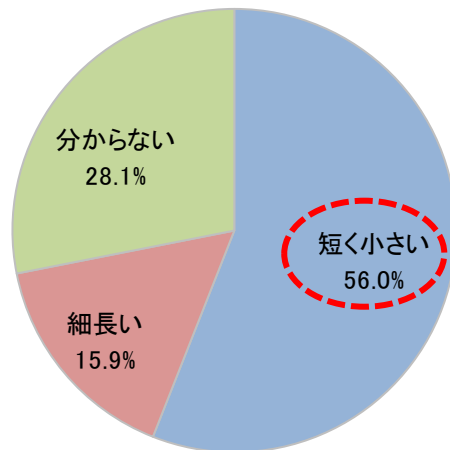
■子どもの歯の生え始めの時期を知っていると回答した母親は 8 割(83.6%)を占めるものの、
 抜け始めの時期を知っている母親は 6 割(62.5%)にとどまり、歯の生え始めと比較して関心が
 低い。【Q6】

子どもの乳歯は、個人差があるものの、生後 8 か月頃から生え始め、2 歳半から 3 歳の間に
 全ての乳歯が生えそろいます。その後、6 歳頃から、通常は下の前歯から抜け始め、永久歯
 へと生え変わっていきます。全回答者 (4,700 人) に対し、子どもの乳歯の生え始め、抜け
 始めの時期の認知を尋ねたところ、生え始めについては 83.6% (3,929 人) が知っていると
 回答しました。一方で、抜け始めの認知は 62.5% (2,938 人) にとどまっており、4 割近い
 37.5% (1,762 人) の母親が知らないと回答しました。



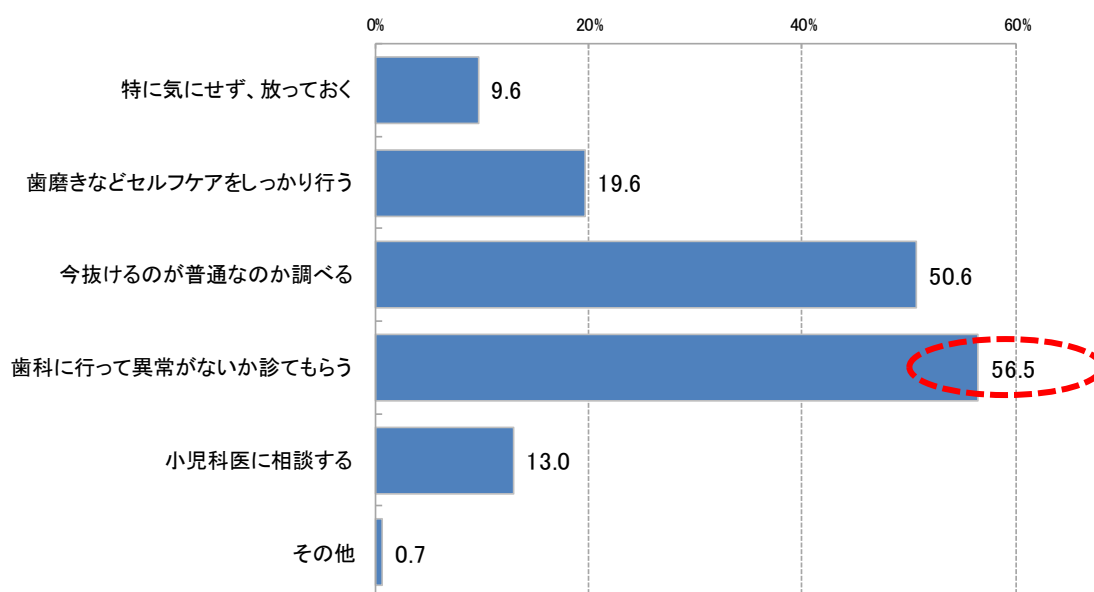
■子どもの抜けた乳歯の形について、通常の形(短く小さい)を知っている母親は 6 割に至らない
 (56.0%)。3 割(28.1%)の親が「分からない」。【Q8】

通常、子どもの乳歯が抜ける際は、歯の根元の「歯根」と呼ばれる部分が吸収されるため、
 短く小さい形になります。全回答者 (4,700 人) に対し、子どもの抜けた乳歯の形について
 正しいと思うものを尋ねたところ、「短く小さい」と回答した人は 6 割に満たない 56.0%
 (2,631 人) にとどまりました。



■乳歯が思っていたより早く抜けた場合でも、4割(43.5%)の母親は、歯科へ行く必要性を感じていない。【Q13】

全回答者（4,700人）に対し、乳歯が思っていたよりも早い時期に抜けた場合の対処を尋ねたところ、「歯科に行って異常がないか診てもらおう」が56.5%（2,654人）で最多だったものの、4割を超える43.5%（2,046人）が歯科受診の意向がないことが分かりました。また、「歯みがきなどセルフケアをしっかりと行う」（19.6%、923人）、「特に気にせず、放っておく」（9.6%、453人）といった考えの人もみられました。

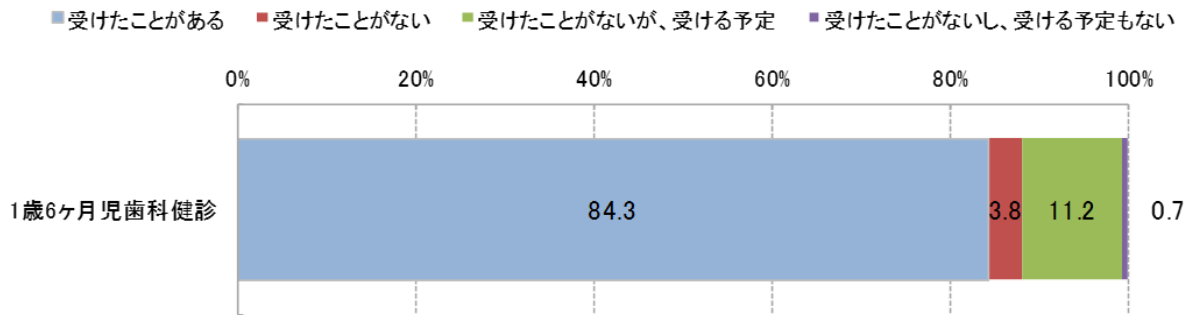


■定期歯科健診(1歳6か月児、3歳児)を受けている、または受ける意向がある母親は9割以上(各95.5%、94.6%)と高い割合を示した。一方、受けていない人の理由の最多は「歯科健診の実施を知らなかったから」(各41.0%、33.3%)。【Q10、Q11】

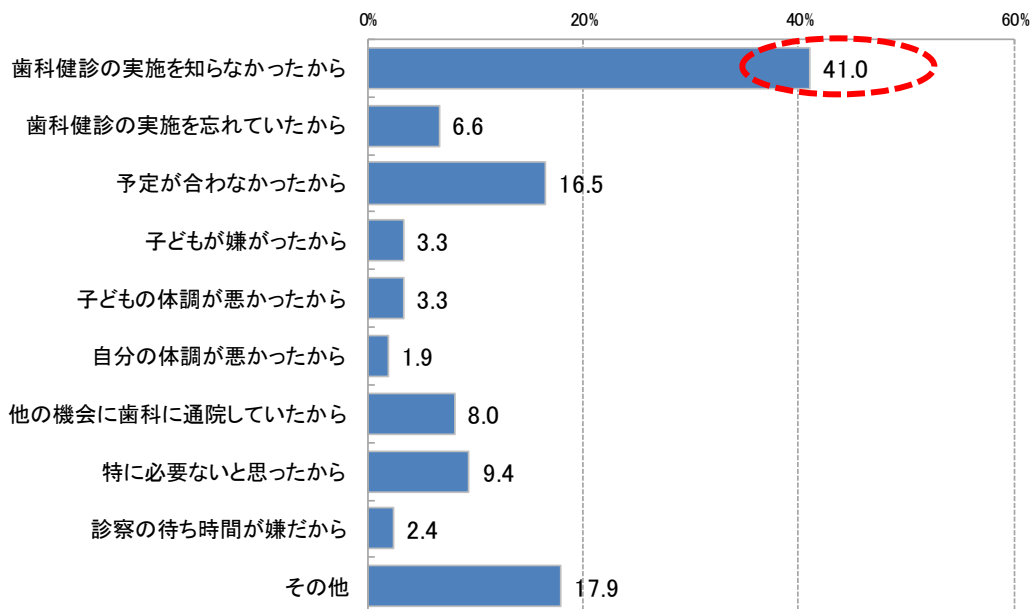
子どもの歯科健診は、1歳6か月児と3歳児に対して行われる「乳幼児健康診査」の項目の1つとなっており、全国の市区町村で、該当年齢のすべての子どもが無料で受けられます。この定期の歯科健診について、1歳6か月児健診では95.5%（4,488人）、3歳児健診では94.6%（2,667人）が「受けたことがある」、もしくは「受けたことがないが、受ける予定」と回答しました。

一方で、「受けたことがない」「受けたことがないし受ける予定もない」とした人にその理由を尋ねたところ、1歳6か月児、3歳児健診ともに「歯科健診の実施を知らなかったから」が最も多く、それぞれ41.0%（87人）、33.3%（51人）に上りました。

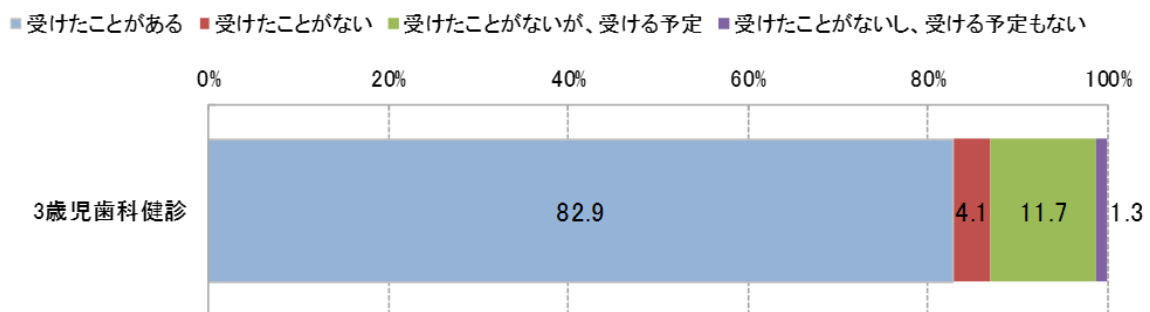
[1歳6ヶ月児歯科検診]



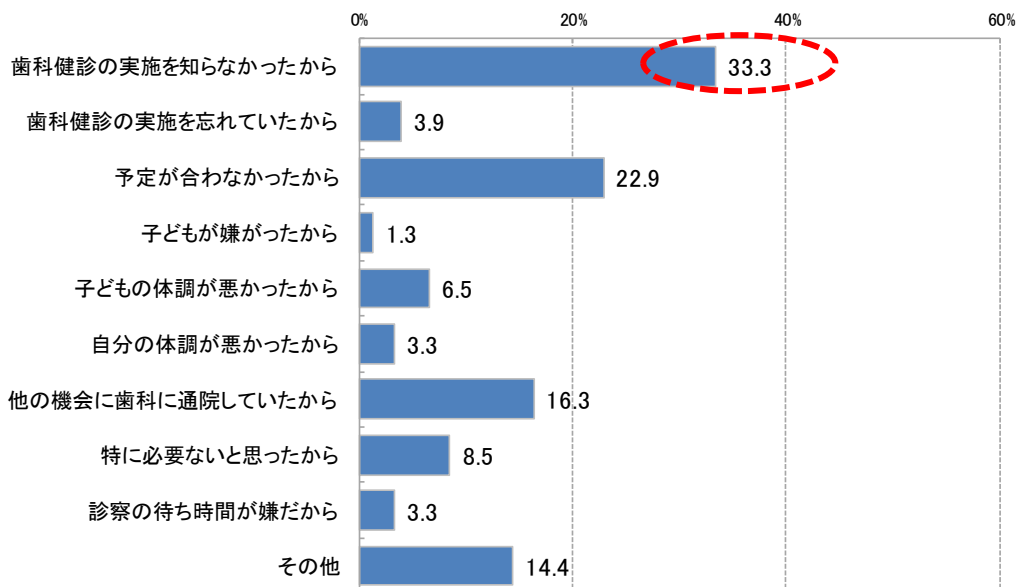
[1歳6ヶ月児歯科検診](n=212)



[3歳児歯科検診]



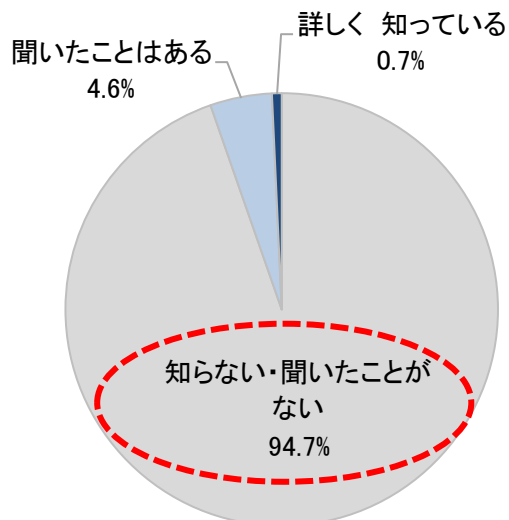
[3歳児歯科健診] (n=153)



■乳歯の早期脱落の要因の一つで、成長が進むにつれて骨に痛みが出たり、運動機能障害で日常生活に影響を及ぼすことがある全身疾患「低ホスファターゼ症」の認知率は 5.3%。【Q15】

子どもの乳歯が4歳以下で自然に抜けたり、抜けた乳歯が通常の短くて小さい形ではなく、細長い場合、「低ホスファターゼ症 (HPP)」という全身疾患が潜んでいることがあります。HPPは、健康な骨を作るために必要な「アルカリホスファターゼ (ALP)」という酵素の働きが弱くなったり、または、酵素がなくなるために発症する病気です。発症時期や症状は多岐にわたりますが、小児の場合は、成長が進むにつれて骨に痛みが出たり、運動機能障害で日常生活に影響を及ぼすことがあります。

全回答者(4,700人)にHPPの認知を尋ねたところ、「知らない・聞いたことがない」が94.7%(4,449人)に上りました。「聞いたことはある」は4.6%(217人)、「詳しく知っている」は0.7%(34人)で、HPPの認知率は5.3%(251人)にとどまっています。



【今回の調査結果についてのコメント】

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室 教授 仲野 和彦 先生

乳歯は個人差があるものの、6歳前後から、通常は下の前歯から抜け始め、永久歯へと生え変わっていきますが、稀に転んだり、ぶついたりなどの外傷や、重度の虫歯以外の理由で自然に抜けることがあります。乳歯が早く抜け落ちると、噛む機能へ悪影響を与え、健全な成長・発育を阻害する可能性があるほか、永久歯の歯並びや噛み合わせが悪くなることもあります。また、4歳以下で、自然に乳歯が抜けた場合、背景に全身疾患が潜んでいる可能性があります、注意が必要です。

今回の調査結果では、「乳歯の抜ける時期」に関心を寄せているお母さんはわずか8%で、乳歯の一般的な抜け始めの時期を知らないお母さんも4割に上りました。【Q5、Q6】このことから、お母さんにとっては子どもの歯の健康は重大な関心事である一方、残念ながら乳歯が早期に抜けることに対する関心は低く、それによって生じる問題への認知も低いものと思われます。

子どもの歯の健康を管理する上では、全国の市区町村で1歳6ヶ月、3歳児に対して行われている乳幼児健康診査での歯科健診が大きな役割を担ってくると考えています。最近、このような乳幼児に対する歯科健診において、乳歯の早期脱落をチェック項目に加える取り組みを始めた自治体も出てきました。こうした取り組みが全国に広がっていき、「乳歯の早期脱落」が見過ごされることなく、適切な診断・治療に結びつくことを期待しています。また、より多くのお母さん方に関心を高めていただき、抜ける時期が早いなどの異常に気づいた場合には、小児歯科にご相談いただければと思います。

アレクシオンファーマ合同会社について

アレクシオンファーマ合同会社は、アレクシオン・ファーマシューティカルズの日本法人です。アレクシオン・ファーマシューティカルズ（本社：米国コネチカット州）は、生活を変えるような革新的な治療薬を提供することで、希少疾患の患者さんとご家族に貢献することに注力するグローバルなバイオ製薬企業です。アレクシオンは、発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）、非典型溶血性尿毒症症候群（aHUS）および抗アセチルコリン受容体（AChR）抗体陽性の全身型重症筋無力症（gMG）の患者さんに対する治療薬として初めてかつ唯一承認されている補体阻害薬を開発し、製造販売しています。また、アレクシオンは、低ホスファターゼ症（HPP）とライソゾーム酸性リパーゼ欠損症（LAL-D）といった生命を脅かす超希少疾患の患者さんに対する2つの非常に革新的な酵素補充療法を有しています。アレクシオンは、20年以上にわたる補体領域のリーダーとして、補体カスケードにおける新しい分子やターゲットの研究に重点的に取り組んでおり、血液、腎臓、神経、および代謝性疾患といったコアとなる治療領域の開発にも重点をおいています。本プレスリリースとアレクシオンファーマ合同会社に関する詳細については、www.alexionpharma.jpをご覧ください。

《本件に関するお問い合わせ先》
アレクシオンファーマ合同会社 コミュニケーション部
TEL：03-5795-0740 FAX：03-5795-0765
Email：Info.Japan@alexion.com

**子どもの歯の健康に関する全国調査
～地域ごとに乳幼児の母親の意識を検証～**

参考資料

1. 調査概要
2. 調査設問
3. 調査結果の詳細

1.調査概要

調査目的 :乳歯が早く抜けることへの母親の問題意識の程度を
明らかにする

調査対象 :1～5歳の子どもの母親 4700名
(各都道府県100名ずつ、子どもの各年齢20名ずつ回収)

調査方法 :インターネットを使用して実施(定量調査)

調査期間 :2017年11月18日(土)～11月21日(火)

2.調査設問

Q1

あなたのお子さんは、幼稚園や保育園に通われていますか？(それぞれ1つだけ)

項目リスト

1.	1人目の【●歳(年齢を表示)】のお子さん
2.	2人目の【●歳(年齢を表示)】のお子さん
3.	3人目の【●歳(年齢を表示)】のお子さん
4.	4人目の【●歳(年齢を表示)】のお子さん
5.	5人目の【●歳(年齢を表示)】のお子さん

選択肢リスト

- 1. 幼稚園
- 2. 保育園
- 3. 幼稚園・保育園には通っていない

Q2

あなたがお子さんのことで興味・関心があるもの、情報収集しているものについてお知らせください。(いくつでも)

項目リスト

1.	興味・関心がある
2.	情報収集をしている

選択肢リスト

- 1. 子どものしつけ
- 2. 子どもの発育・成長
- 3. 子どもの病気・病院
- 4. 子どもの歯みがき、歯科衛生
- 5. 子どもの栄養・食生活
- 6. 子どもの運動
- 7. 子どもの遊び・遊び場
- 8. 子どもの習い事・教育
- 9. 子どものファッション
- 10. 子どもの将来
- 11. あてはまるものはない

Q3

あなたの【●歳(年齢を表示)】のお子さんについて伺います。
ご家庭の中で、あなたの子育ての分担割合はどのくらいでしょうか？

- 1. 10割
- 2. 9割
- 3. 8割
- 4. 7割
- 5. 6割
- 6. 5割
- 7. 4割
- 8. 3割
- 9. 2割
- 10. 1割以下

Q4

あなたの【●歳(年齢を表示)】のお子さんについて伺います。
普段、あなたが主におこなっているお子さんの歯のケアについて、あてはまることをお
選びください。(いくつでも)

- 1. 歯磨きの呼びかけ
- 2. 歯磨き(仕上げ磨き、うがいなどのサポート)
- 3. 歯科の定期健診に連れて行く
- 4. 甘い物のコントロール
- 5. その他【FA】
- 6. 特に何もおこなっていない

Q5

あなたの【●歳(年齢を表示)】のお子さんについて伺います。
お子さんの歯の健康のことで、気にしていることはありますか？あてはまることをお選
びください。(いくつでも)

- 1. 虫歯
- 2. 歯並びやかみ合わせ
- 3. 歯の汚れや着色
- 4. 歯の形
- 5. 乳歯の生える時期・順番
- 6. 乳歯の抜ける時期・順番
- 7. その他【FA】
- 8. 気にしていることはない

Q6

子どもの乳歯の一般的な成長について、ご存知のことをお知らせください。

項目リスト

- 1. 何歳頃から生え始めるか知っている
- 2. 何歳頃に抜け始めるか知っている

選択肢リスト

- 1. はい
- 2. いいえ

Q7

子どもの乳歯の一般的な抜け始めの時期について、正しいと思うことをお選びくださ
い。

- 1. 1歳頃
- 2. 2歳頃
- 3. 3歳頃
- 4. 4歳頃
- 5. 5歳頃
- 6. 6歳頃
- 7. 7歳頃
- 8. 8歳頃

Q8

子どもの抜けた乳歯の形で正しいと思うものをお選びください。

- 1. 短く小さい
- 2. 細長い
- 3. 分からない

Q9

子どもの乳歯に対するあなたのお考えについて、あてはまることをお選びください。(いくつでも)

- 1. 虫歯になるのはよくあることだと思う
- 2. 歯周炎(歯ぐきの腫れ、出血)になるのはよくあることだと思う
- 3. 乳歯が4歳以前に抜けるのはよくあることだと思う
- 4. いずれもあてはまらない

Q10

あなたの【●歳(年齢を表示)】のお子さんについて伺います。
全国の各市区町村では、1歳6ヶ月児歯科健診や3歳児歯科健診など定期的な健診を実施していますが、これらの定期健診を受けたことはありますか？
※市区町村によっては、内科健診と一緒に行われています。

項目リスト

- 1. 1歳6ヶ月児歯科健診
- 2. 3歳児歯科健診

選択肢リスト

- 1. 受けたことがある
- 2. 受けたことがない
- 3. 受けたことがないが、受ける予定
- 4. 受けたことがないし、受ける予定もない

Q11

市区町村で行われている子どもの歯科健診を受けたことがない理由をお選びください。(いくつでも)

項目リスト

- 1. 1歳6ヶ月児歯科健診
- 2. 3歳児歯科健診

選択肢リスト

- 1. 歯科健診の実施を知らなかったから
- 2. 歯科健診の実施を忘れていたから
- 3. 予定が合わなかったから
- 4. 子どもが嫌がったから
- 5. 子どもの体調が悪かったから
- 6. 自分の体調が悪かったから
- 7. 他の機会に歯科に通院していたから
- 8. 特に必要ないと思ったから
- 9. 診察の待ち時間が嫌だから
- 10. その他

Q12

先程、【●歳(年齢を表示)】のおさんが歯科健診を受けたことがあるとお答えのかたに伺います。
その健診の際に何か指摘されたことのあるかたは、内容を記載してください。

--

Q13

あなたの【●歳(年齢を表示)】のお子さんについて伺います。
あなたは、お子さんの乳歯が思っていたよりも早い時期に抜けた場合、どのように対処
しますか？(いくつでも)

- 1. 特に気にせず、放っておく
- 2. 歯磨きなどセルフケアをしっかり行う
- 3. 今抜けるのが普通なのか調べる
- 4. 歯科に行って異常がないか診てもらう
- 5. 小児科医に相談する
- 6. その他【FA】

Q14

あなたの【●歳(年齢を表示)】のお子さんについて伺います。
お子さんの乳歯の状態について、あてはまることをお選びください。

項目リスト

1. 虫歯がある
2. 歯周炎(歯ぐきの腫れ、出血)がある
3. ぶつけたり転んだりなどの強い力によらずに、1~4歳の時に抜けたことがある
4. 歯の根っこの部分(歯根)とともに抜けたことがある

選択肢リスト

- 1. あてはまる
- 2. あてはまらない
- 3. 分からない

Q15

乳歯が早期に抜けてしまうことが特徴の一つとされている、「低ホスファターゼ症」という
病気についてご存知ですか？

- 1. 知らない・聞いたことがない
- 2. 聞いたことはある
- 3. 詳しく 知っている

Q16

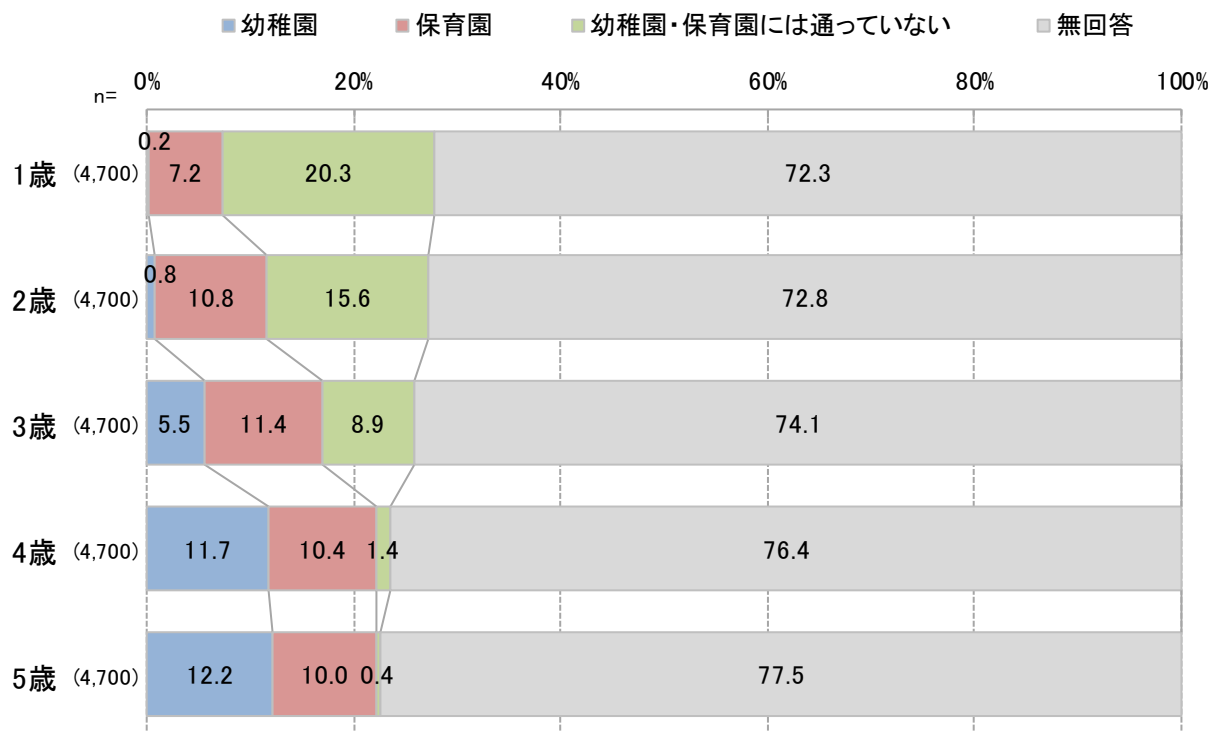
あなたは、子どもの健康に関する情報や知識をどこから(誰から)得ていますか？
参考にしてしている情報源を上位3つまでお選びください。

- 1. 家族
- 2. 友人・知人
- 3. 幼稚園・保育園の先生
- 4. 医師・歯科医・看護師など医療関係者
- 5. 保健師・栄養士
- 6. 保健センターの担当者
- 7. 市区町村の役所の保健・子育て等担当者
- 8. 新聞
- 9. テレビ・ラジオ
- 10. SNS
- 11. WEBサイト
- 12. 雑誌・書籍
- 13. その他【FA】
- 14. 特になし

3.調査結果の詳細

[Q1]あなたのお子さんは、幼稚園や保育園に通われていますか？(ひとつだけ)

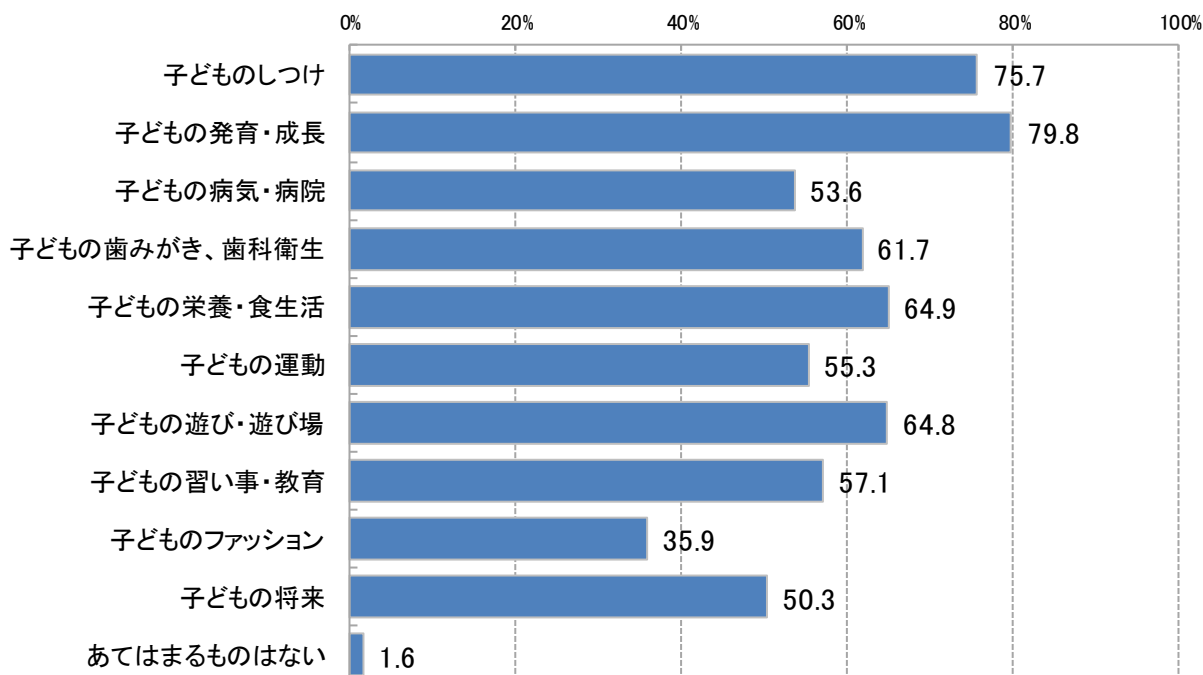
※N=全体(4700名)



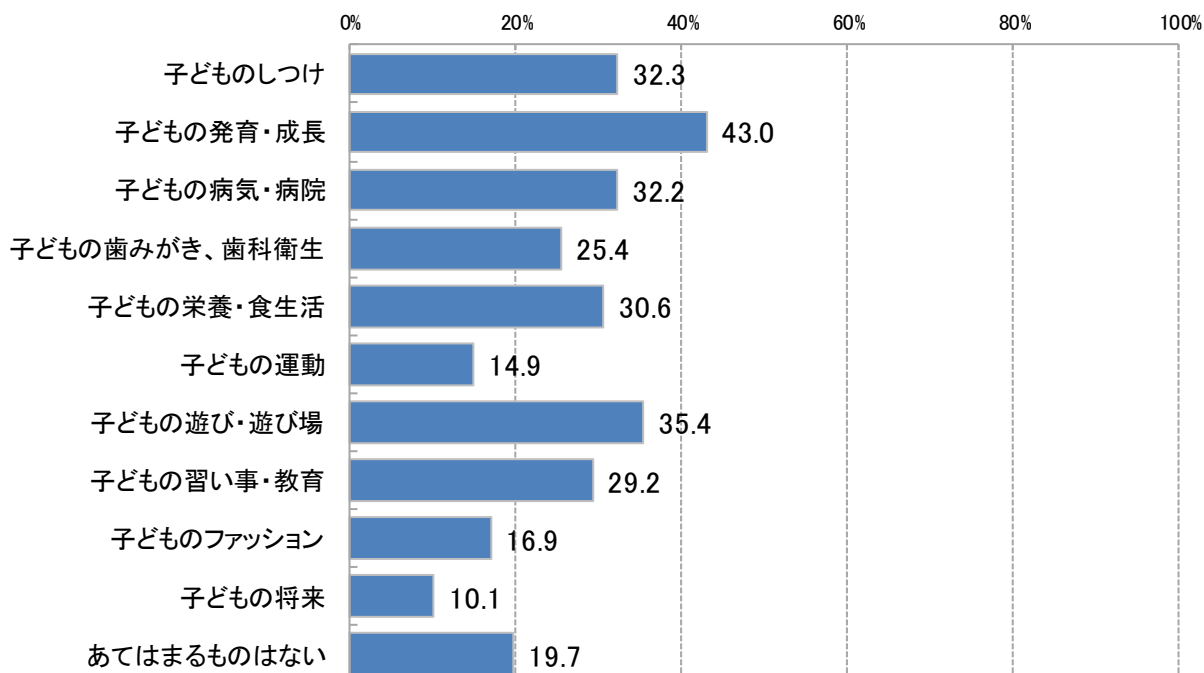
・[Q2]あなたがお子さんのことで興味・関心があるもの、情報収集しているものについてお知らせください。(いくつでも)

※N=全体(4700名)

[興味・関心がある]

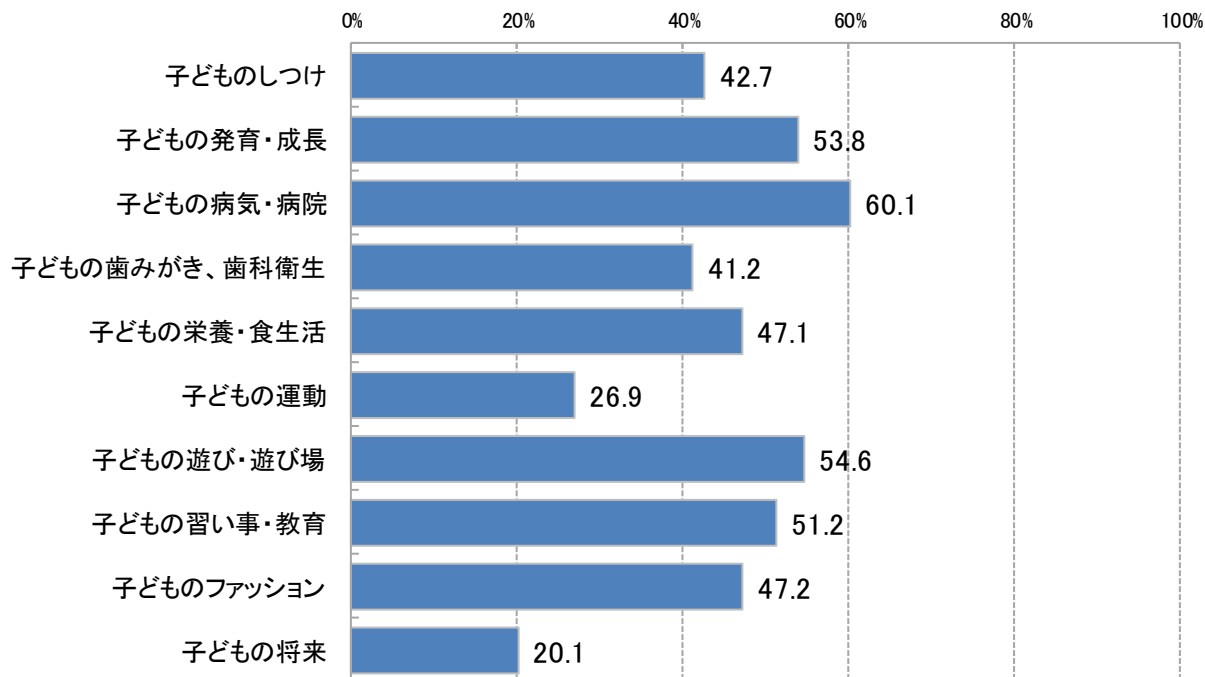


[興味・関心があり、かつ情報収集をしている]



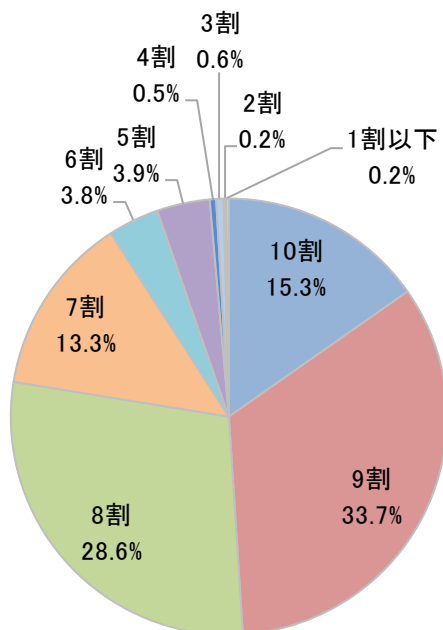
・[Q2]あなたがお子さんのことで興味・関心があるもの、情報収集しているものについてお知らせください。(いくつでも)

[情報収集をしている]
※興味・関心がある人を100%とした割合



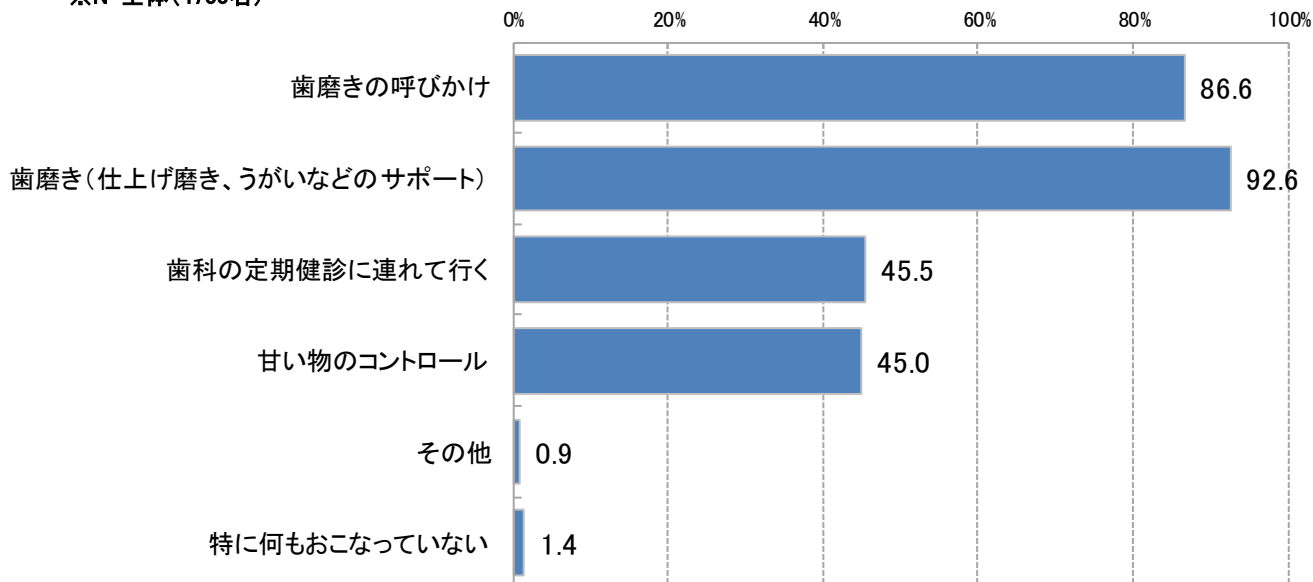
・[Q3] ご家庭の中で、あなたの子育ての分担割合はどのくらいでしょうか？（ひとつだけ）

※N=全体(4700名)



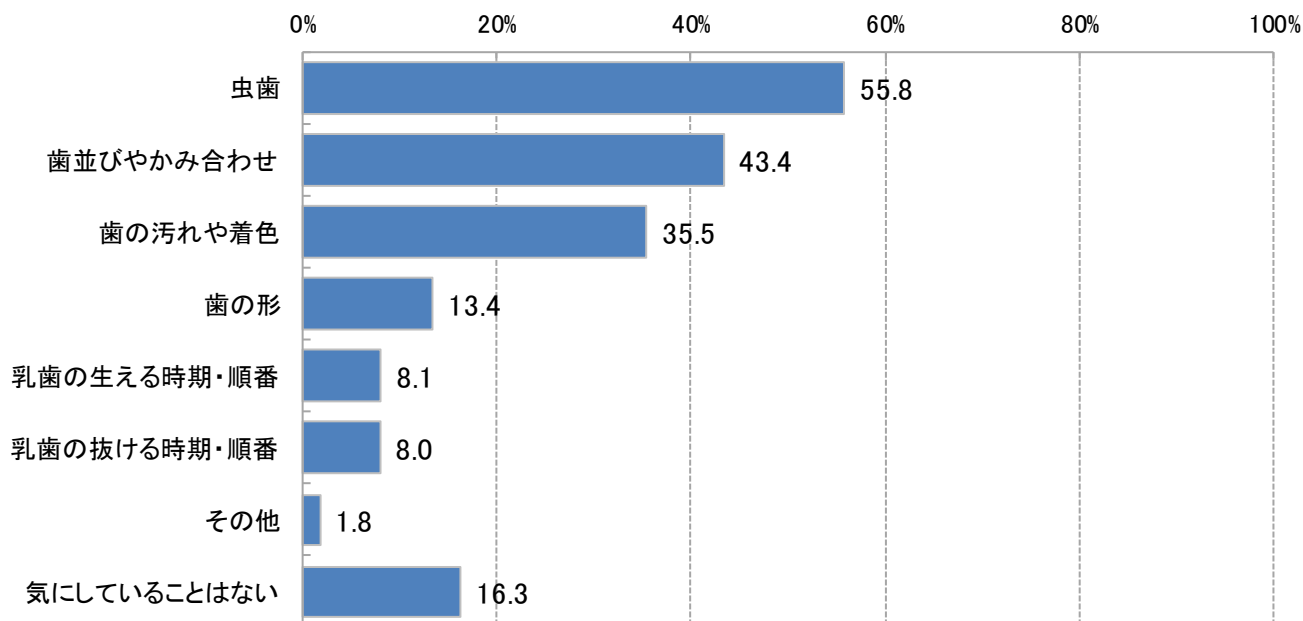
・[Q4] 普段、あなたが主におこなっているお子さんの歯のケアについて、あてはまることを選びください。（いくつでも）

※N=全体(4700名)



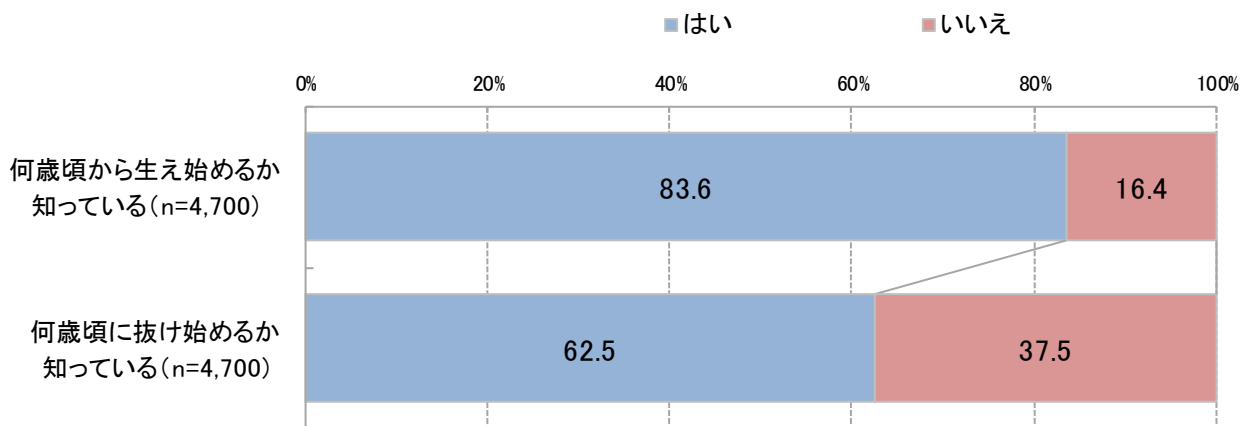
・[Q5] お子さんの歯の健康のことで、気にしていることはありますか？あてはまることを選びください。
(いくつでも)

※N=全体(4700名)



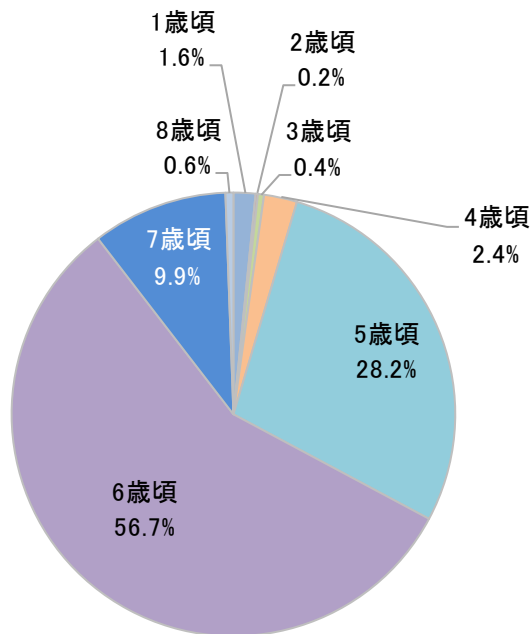
・[Q6] 子どもの乳歯の一般的な成長について、ご存知のことをお知らせください

※N=全体(4700名)



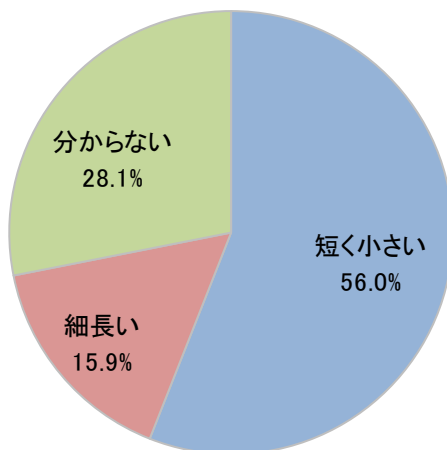
・[Q7]子どもの乳歯の一般的な抜け始めの時期について、正しいと思うことをお選びください。
(ひとつだけ)

※N=Q6で子供の乳歯が何歳頃に抜け始めるか知っていると回答した人(2938名)



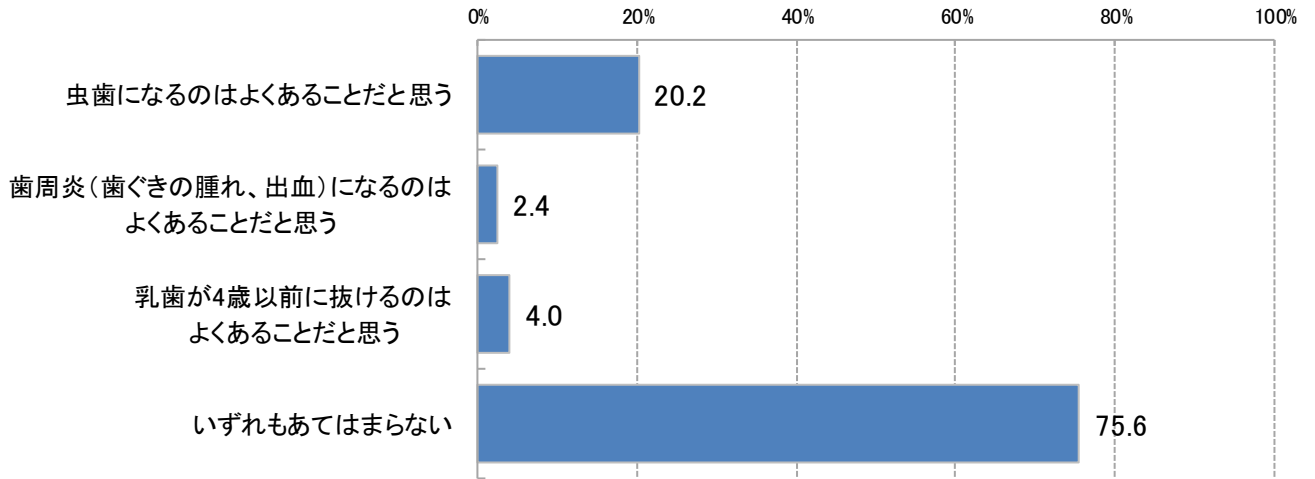
・[Q8]子どもの抜けた乳歯の形で正しいと思うものをお選びください。(ひとつだけ)

※N=全体(4700名)



・[Q9]子どもの乳歯に対するあなたのお考えについて、あてはまることを選びください。(いくつでも)

※N=全体(4700名)

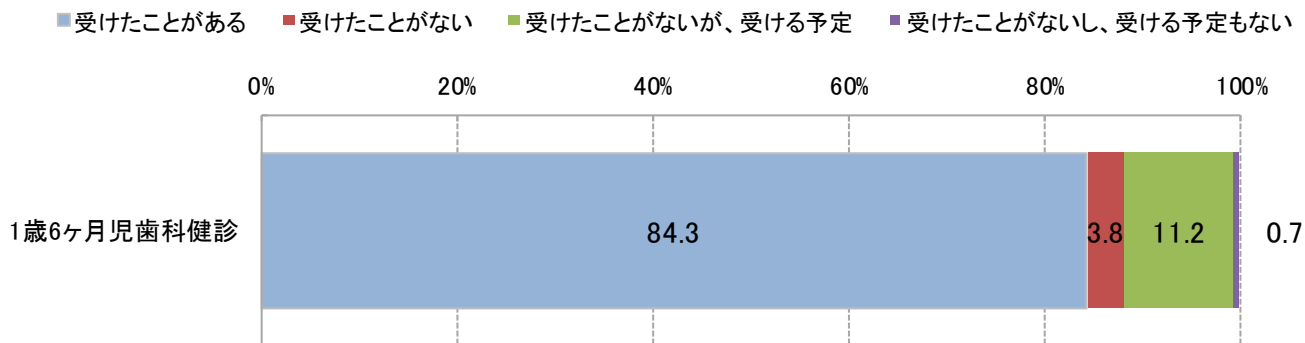


・[Q10] 全国の各市区町村では、1歳6ヶ月児歯科健診や3歳児歯科健診など定期的な健診を実施していますが、これらの定期健診を受けたことはありますか？

・※市区町村によっては、内科健診と一緒に行われています。

※N=全体(4700名)

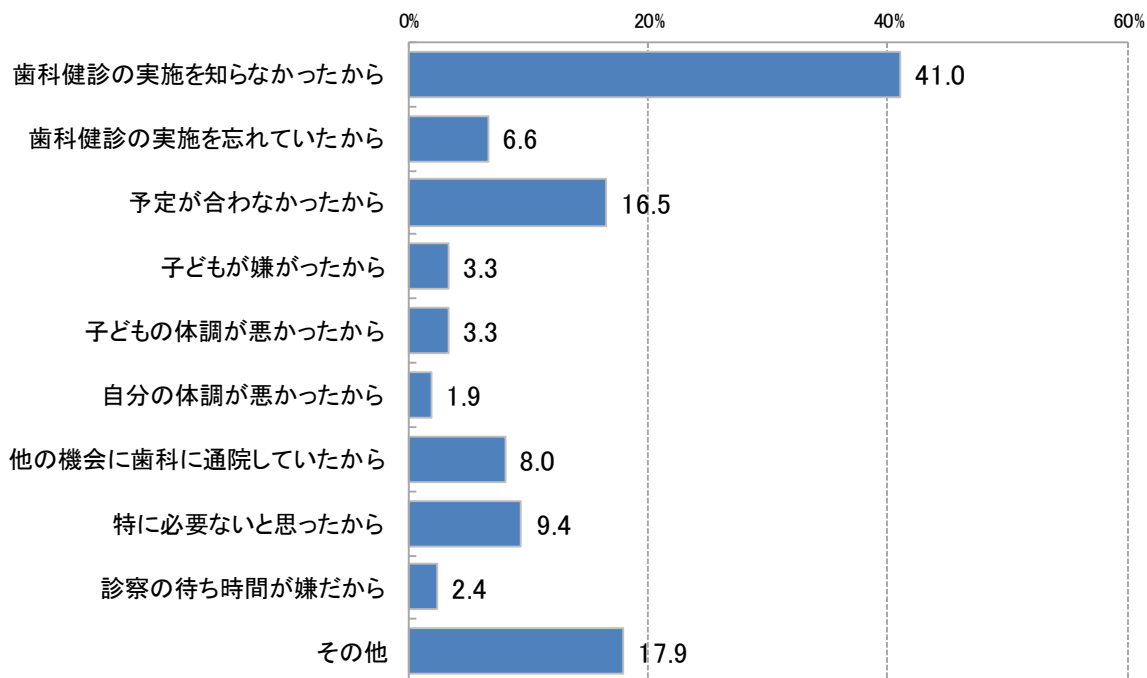
[1歳6ヶ月児歯科検診]



・[Q11]市区町村で行われている子どもの歯科健診を受けたことがない理由をお選びください。
(いくつでも)

※N=1歳6ヶ月児歯科健診を「受けたことがない／受けたことがないし受ける予定もない」人(212名)

[1歳6ヶ月児歯科健診](n=212)

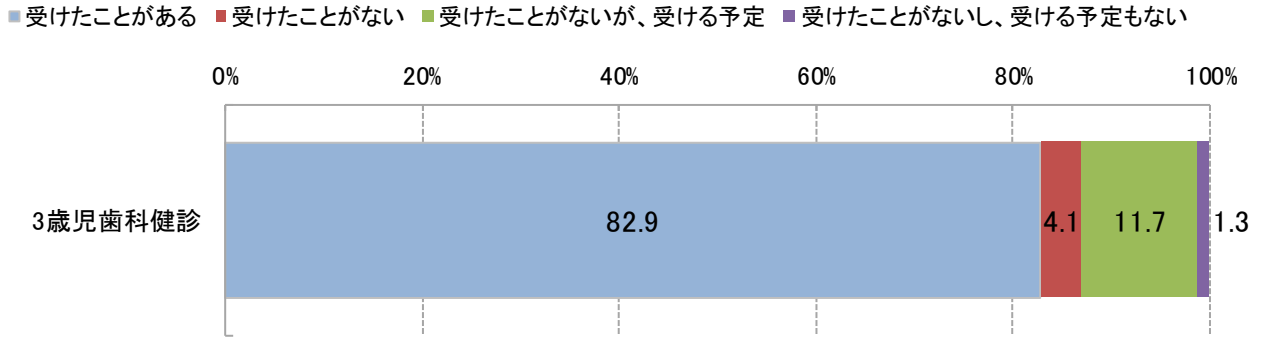


・[Q10] 全国の各市区町村では、1歳6ヶ月児歯科健診や3歳児歯科健診など定期的な健診を実施していますが、これらの定期健診を受けたことはありますか？

・※市区町村によっては、内科健診と一緒に行われています。

※N=子供が3歳以上の母親(2820名)

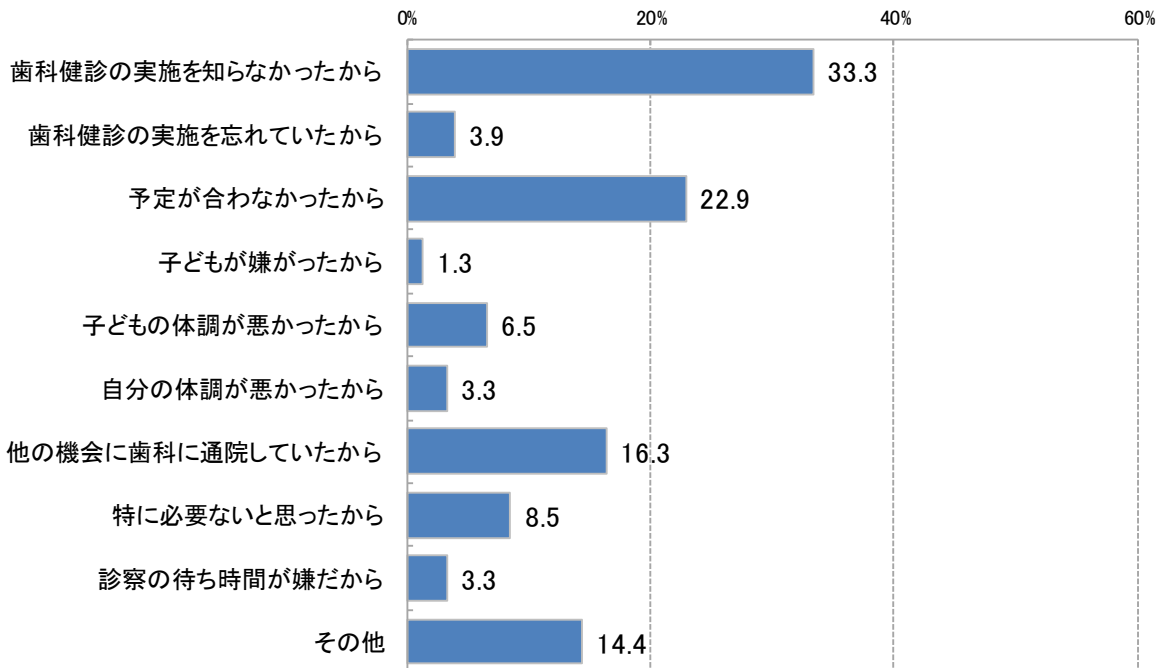
[3歳児歯科健診]



・[Q11] 市区町村で行われている子どもの歯科健診を受けたことがない理由をお選びください。(いくつでも)

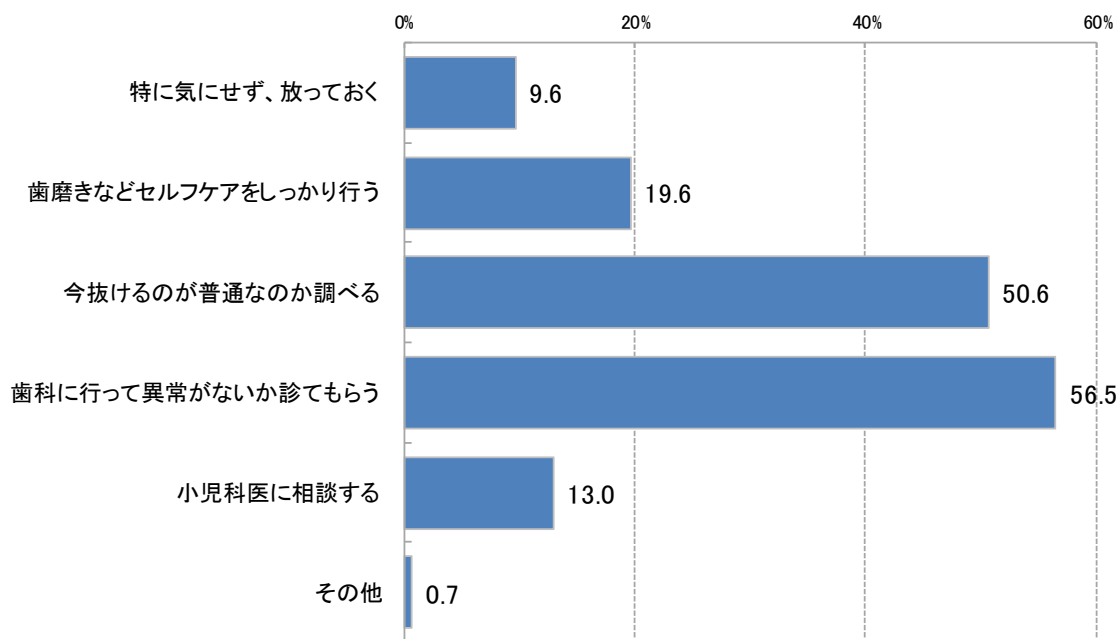
※N=3歳児歯科健診を「受けたことがない／受けたことがないし受ける予定もない」人(153名)

[3歳児歯科健診] (n=153)



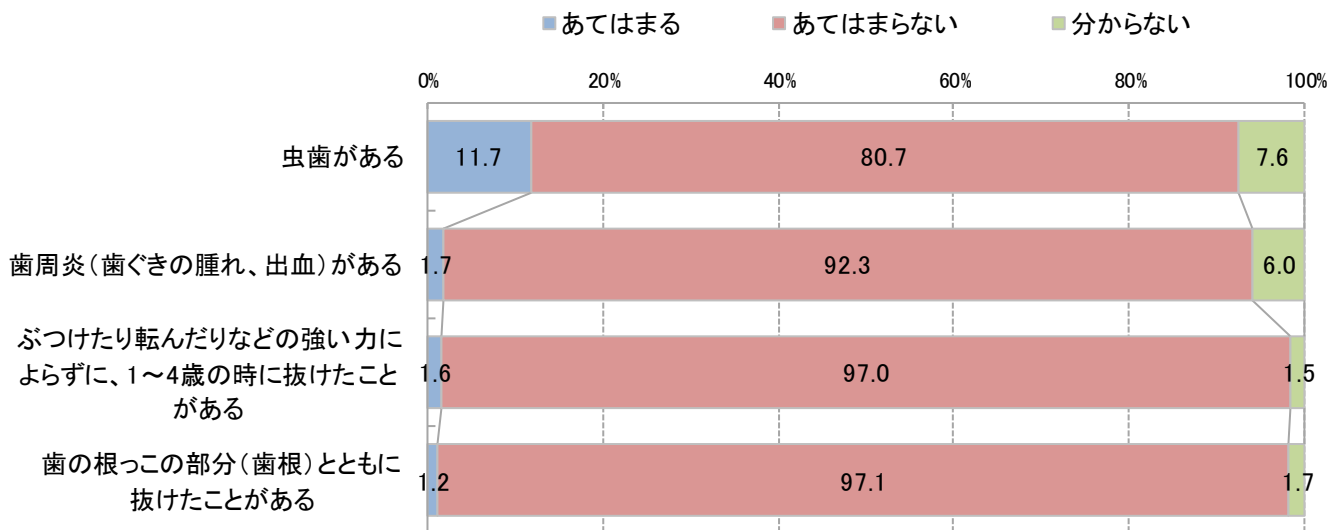
[Q13] あなたは、お子さんの乳歯が思っていたよりも早い時期に抜けた場合、どのように対処しますか？
(いくつでも)

※N=全体(4700名)



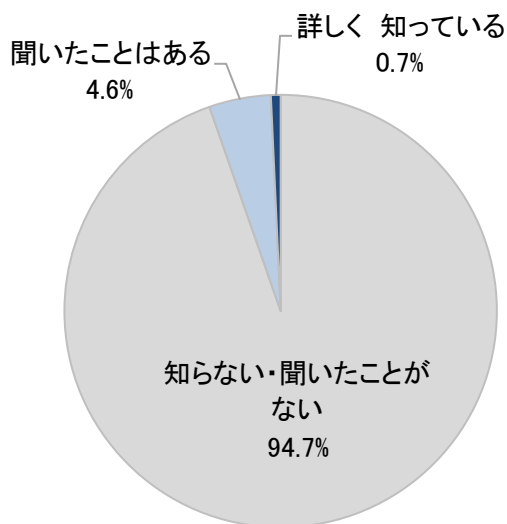
・[Q14] お子さんの乳歯の状態について、あてはまることをお選びください。

※N=全体(4700名)



[Q15]乳歯が早期に抜けてしまうことが特徴の一つとされている、「低ホスファターゼ症」という病気についてご存知ですか？

※N=全体(4700名)



[Q16]あなたは、子どもの健康に関する情報や知識をどこから(誰から)得ていますか？
参考にしている情報源を上位3つまでお選びください。

※N=全体(4700名)

